



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
- ・周辺の都市（前橋市・富岡市）へスムーズに行ける道路がほしい。（地元住民）
- ・生活道路の安全を確保してほしい。（地元住民）

事業前

- ◆通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



事業前の状況（下里見北交差点）

事業後

- ◆バイパス整備により高崎・安中～富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時においても広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能になります。



事業後のイメージ（高崎市下里見町付近）

事業の概要

- 事業箇所：高崎市下里見町 ～ 安中市下秋間
- 事業内容：バイパス整備
延長 3.83 km 道路幅 10.5m
- 事業期間：平成28年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は、用地買収や道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

令和6年度
工事箇所

● 事業完了